

問 外宿地内避難道路の改良の進捗は

答 避難道路の重要性を鑑み進める



新政とうかい
寺門 定範 議員

問 広域避難時における避難道路の位置付けである石神外宿地内道路の改良の進捗状況は

答 避難道路として村道の一部狭隘な箇所を大型車両の通行に支障が無いよう、拡幅工事をを行う方針が決定された。しかし、自治会から交通量増加の懸念があり、事業実施について慎重に進めてきた。引き続き避難道路の重要性に鑑み、合意形成が図れるよう努める。

問 東海スマートインターを大型車両通行可とすることは、広域避難における避難住民の

乗る大型バスなどの車両が通行する上で必要である。現在の協議状況を伺う。

答 広域避難時における上下線の大型車両通行の実現に向け、ネクスコ東日本との協議を続けている。まずは、上り線入口ゲートの通行に支障があるため、現状ゲートの改良について協議を進める。



避難道路である外宿地内村道

問 6号国道の取付け道路である西山地区北の道路を拡幅、延伸の状況を伺う。

答 現在、取付け道路の拡幅土地に関する用地交渉を進めている。

問 白方街道踏切改修工事の進捗は

答 令和5年度に工事を実施予定



新政とうかい
河野 健一 議員

問 令和元年9月議会で同じ質問を行った。当時の答弁では、安全対策に関する検討会において、百塚区自治会からは歩道整備の意見が出されたこと。また、村・国・県・JR東日本による協議会で、改良計画策定に向け手続きを進めていくとのことだったが進捗は。

安全に通行できるようになることに期待している一方で、工事期間の長期化により利用者への負担が心配される。地域への説明を早期に実施していただきたい。

答 白方街道踏切は、見通しが悪い上に通学路でありながら歩道が無く、通行に支障を来していることから、踏切を拡幅し新たに歩道整備する計画を進め、令和5年度に工事を実施する予定となっている。現在は、詳細設計を実施しており、令和4年度秋頃の協定締結に向けJR東日本と施行協議を進めている。今後は令和5年度の工事着手を見据え、地元自治会への説明会を行い、協力を得て、安心安全な踏切となるよう進めていく。



改修予定の現在の白方街道踏切